



〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026 URL http://www.utsunomiya-u.ac.jp
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

NOW

● vol.5

発行：宇都宮大学
編集：広報室

CONTENTS

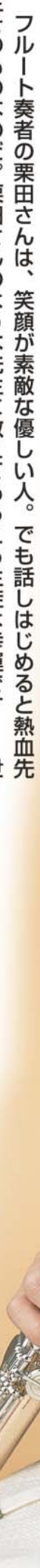
- 1 世界に響け 宇大のメロディ
- 2 学生のゆうゆう活動紹介
トップ対談「学生生活の強い味方」
- 4 ベストティーチャーに聞くII
- 5 キャンパスみどころMAP 峰キャンパス
- 7 キャンパスみどころMAP 陽東キャンパス
- 9 SLOW FOOD
- 10 学生アンケート「宇大生は今!」
- 11 INFORMATION
- 12 研究Keyword

世界に響け 宇大のメロディ

国際舞台での経験を生かし、地域に根ざすフルート奏者

フルート奏者の栗田さんは、笑顔が素敵な優しい人。でも話しはじめると熱血先生そのものなのだ。栗田さんのような先生に教えてもらえる生徒は幸運です！ 世界に響けたい宇都宮大学の卒業生が、地元の教育現場や地域で、いかに活躍しているかを実感した取材であった。(取材/農学部2年・栗田真入 工学部2年・牧内美由紀)

くりた ともみ
栗田 智水



フルート奏者の栗田さんは、笑顔が素敵な優しい人。でも話しはじめると熱血先生そのものなのだ。栗田さんのような先生に教えてもらえる生徒は幸運です！ 世界に響けたい宇都宮大学の卒業生が、地元の教育現場や地域で、いかに活躍しているかを実感した取材であった。(取材/農学部2年・栗田真入 工学部2年・牧内美由紀)

■実力の世界、フランス

「生で感じる空気や、聞こえる音とか、その時に見える風景は自分で行ってみたいと分らない。自分だったらどうか、何を感じられるかなって思いました。」

いつもCDで聞いていた好きな作曲家や演奏家は、なぜかフランス人だった。だからフランスに行ってみようと思った。栃木県の姉妹都市ヴォークリューズ県(南仏)への高校生派遣に応募して、憧れのフランスに約2週間滞在。「あー、やっぱりここだ」と思った。

教師をしている母の影響で幼い頃から「校長先生になること

が大きな夢」だった。先生になるんだら、地元の宇都宮大学が最適と選んだ。無事入学するとしばらくしてフランスを思い出し、大学院1年で留学を果たす。フランスでは全てが勉強だった。

「先生になりたくて宇都宮大学を選びましたが、フルートをやっている」と、日本では「音楽大出身でない」という先入観がありますから、知らず知らずのうちにコンプレックスを持っていました。でも、フランスではそんなことは誰も気にしなくて、経歴も一切関係ない。コンクールを受けて通れば認められる実力の世界です。ひとり

の栗田智水という人間を見てくれる……。気持ちが楽になりました。」

■初めて吹いた曲は「水戸黄門」

小学校4年生のとき、吹奏楽部に入学し、たまたま家にあったフルートを吹きはじめた。

「祖父母がいましたので、学校から帰ると毎日一緒にテレビドラマの「水戸黄門」を見ていました。だから、学級発表会で初めて吹いた曲は「水戸黄門」のテーマなんです(笑)。

このときの演奏が「フルート奏者」と「教師」という二つの夢が同時に花開く前奏であった。自分から手にしたフルートは好

きで気ままにやっていたと話す。が、並の才能と努力ではない。「もともと練習して、高いレベルに到達して初めて「やめたい」と思っていたんでしょうね。私はつらいときは、まだそこまで到達していないから、そんなことは考えてはいけないうだと思っています。コンクールでも、ものすごく緊張して、二度とフルートなんて吹かないと思っても、終わると、次の曲のことを考えています。」

■歌って踊れてフルートの吹ける教師

宇都宮市で開かれたフランス人フルート奏者パトリック・ガロワ氏のコンサートで、その素晴らしい演奏に魅せられた。「背が高く、ビー玉のような青

い目の貴公子」。このときの出会いが運命の出会いとなる。2年後のフランス留学で教師と学生として再会し、師事することになる。

「私の留学中に、偶然、カナダに住んでいたガロワ氏がフランスに戻って教師を執ることになったんです。氏に師事できたことは私にとって一生の宝物です。学生が一生懸命演奏すると心からほめてくれます。まさに名演奏家であり名教師ですね。人間的にも豊かで、見習いたいと思いました。」

尊敬する演奏家、教師に出会った栗田さん。目指すところは「歌って踊れてフルートの吹ける教師」。4月から高校の常勤講師として勤務。パリではその名も「歌舞伎町24時」というパ

ンドのヴォールタンをやっていたという話には、授業は消極的だった生徒も「えっ」と驚いて目を輝かせる。フランスの約300組のバンドが出場したコンクールで上位に残り、自身は「ベストシンガー賞」を受賞。大学のダンスサークルに所属していたので、ヒップポップまで踊れる異色教師である。ポラントイアで行っている演奏活動は高校生時代から続いている。そして「日本クラシック音楽コンクール」で4位(1位2位該当者なし)のため実質2位に輝く。多彩で豊かな人生経験を教育現場や地域で十分に生かしている。

「いつでも一歩踏み出す勇気が必要です。私も留学してひとつ夢がかないました。」

(文・ピオス編集部/撮影・木原悠策)

PROFILE

【くりた・ともみ】栃木県茂木町生まれ。宇都宮大学教育学部音楽科卒業後渡仏。パリ・エコール・ノルマル音楽院を首席、フランス国立オールネイ・ス・ボア音楽学校を1等賞で修了。06年、宇都宮大学大学院修了。第20回栃木県学生音楽コンクール第1位、第15回日本クラシック音楽コンクール全国大会第4位。栃木県交響楽団所属。